三和新報

平市六丁目三和新報社発行電472　8月3日　(1カ月50円)

日刊(除日曜・祝祭日)第77号　平本社・湯本支社・小名浜支局・東京支局・支社・内郷支社・支社

(昭和29年6月17日第三種郵便物認可)

人の往来

◇諸橋久太郎（平市長）金子政通（平市議長）の両氏は三日磐間町へ出張

◇平署人事異動
巡査部長の部
吉田馨（本宮）取調主任
巡査の部
玉谷秀雄（小川）北好間、樋口貞之（赤井）上好間、渡辺喜作（磐城）高久菅野れ栄（四倉）三阪谷春松（本署）好間捜査、久家稔（郡山）四倉捜査、後藤義勝（北好間）赤井、滝沢昌司（須賀川）平窪、郡正（本署）神谷橋本作助（高田）飯野、諸根辰次（白河）捜査鈴木一（川俣）同、本条経治（若松）同笠原義文（石川）同、武藤七郎（福島）同高橋勝信（磐城）同樋山剛（四倉）パトロール阿久津覚（郡山）看守相楽竈（本署）沢渡、松崎源吉（本署）北好間

◇諸橋久太郎（平市長）金子政通（平市議長）の両氏は三日磐間町へ出張

◇平署人事異動
巡査部長の部
吉田馨（本宮）取調主任
巡査の部
玉谷秀雄（小川）北好間、樋口貞之（赤井）上好間、渡辺喜作（磐城）高久菅野れ栄（四倉）三阪谷春松（本署）好間捜査、久家稔（郡山）四倉捜査、後藤義勝（北好間）赤井、滝沢昌司（須賀川）平窪、郡正（本署）神谷橋本作助（高田）飯野、諸根辰次（白河）捜査鈴木一（川俣）同、本条経治（若松）同笠原義文（石川）同、武藤七郎（福島）同高橋勝信（磐城）同樋山剛（四倉）パトロール阿久津覚（郡山）看守相楽竈（本署）北好間

◇平税務署人事異動
◇坂下総務（平総務）川村喜◇平直税青色申告係長（鶴岡直税所得第一係長）力田正◇郡山直税第二係長（平直税所得二係長）門脇恵吉◇平直税所得二係長（二本松所得源泉資料係長）諸星雄◇たな倉監理直税係長（平直税）首藤利男◇田島間税係長（平間税調査係）津野佳夫◇白河源泉資料係長（直税所得第一係）鈴木良夫◇たな倉直税係長（同）首藤利夫◇赤湯直税課（同）福島和夫◇田島監理係（直税所得第二係）阿部浅香◇盛岡直税課（直税法人係）佐藤至

◇平税務署人事異動
◇坂下総務（平総務）川村喜◇平直税青色申告係長（鶴岡直税所得第一係長）力田正◇郡山直税第二係長（平直税所得二係長）門脇恵吉◇平直税所得二係長（二本松所得源泉資料係長）諸星雄◇たな倉監理直税係長（平直税）首藤利男◇田島間税係長（平間税調査係）津野佳夫◇白河源泉資料係長（直税所得第一係）鈴木良夫◇たな倉直税係長（同）首藤利夫◇赤湯直税課（同）福島和夫◇田島監理係（直税所得第二係）阿部浅香◇盛岡直税課（直税法人係）佐藤至

山口正伊（四倉）パトロール鈴木義信（若松）看守、藤田一（郡山）駅前、植田当（石河）小川、外勤、佐藤秀良（沢渡）添田辰義（須賀川）大石仁（本署）佐藤芳太郎（上好間）佐久間政男（上好間）武藤貴善（坂下）小林重三郎（たな倉）橋本宗秀（本署）中島清則（郡山）

替玉選手で試合中止

郡山市議と常磐市議が大ゲンカ

十二市親善野球大荒れ

第三回県下十二市市議親善野球大会の準決勝は二日午前十時から湯本一小、浅貝の両球場でひらき磐城市を三十四対十で破った郡山市議チームと十一対十で喜多方市議チームに辛勝した常磐市が対戦することになったが試合開始前に病気のため選手を交代するという郡山市議チームの申入れに端を発してごたごたを起しキャプテン会議で決つたルール（四十才以上の部長級から捕手一名だけ補助出来る）を無視して替玉選手を出場させたことがわかり規定違反だと常磐市議チームの選手たちが郡山市議チームのベンチに押しかけ「勝敗は問題でない、ファインプレーをせよ」と非難、これに対し郡山市議チームは「選手が揃うまで待て、今日は選手が病気のため帰つてしまつたから延期しろ」と応酬遂に「デレスケ、スリコギ野郎」などという罵声と怒声が乱れとびおよそ一時間半にわたつてすつたもんだした揚句郡山市議チームは憤がいして引揚げてしまつたため結局試合は中止となり五十嵐大会委員長と若松市議長が常磐市の不戦勝を宣言、親善野球は「不親善野球」に急変しけんけんごうごうたる騒ぎの中に大会の幕を閉じ親善野球史に大きな汚点を残した

プロルンペン続出

うまく生活保護法のウラをかく

妻と共謀して夫が家出

最近妻子を置いてけぼりして何処へともなく忽然とドロンをきめこむルンペン、プロレタリアートが多く福祉事務所員を困らせている内郷市では七月に入つてから三人も姿をくらまし、いずれも三十才から三十五才までの無職者、常磐市でも四人にのぼり福祉事務所ではほたらき手を失つた母子世帯なので生活扶助を適応しなければならぬので身上調査に乗りだしたが「夫は黙つて家出した、音信すら不通である」という申請を真いとにらんでおり夫がこつそり出稼ぎにでれば母子世帯になるので、夫婦なれあいの計画的なやり方ではないかといつている、中には「生活扶助という制度をもつと早く知つておけばよかつた、これは最良の福祉だ」などとチヤツカリしているものもあるといわれ調査によれば行方不明だというこれらの夫たちはみんな郎麻郡大和町で行つている貝見川電源開発工事に出かけているらしい

ガケから落ち土工負傷

二日午後二時ごろ内郷市御厩字久世原地内の福島労災病院敷地埋立作業場で土砂崩し作業中の内郷市宮字鬼ケ沢土工加藤幸吉さん(五二)は誤つて高さ四米のガケから転落前頭部、頭部などに三週間の挫傷を負つた

幼児トラックにはねられ死亡

二日午後三時二十分ごろ植田町大町地内国道で同字植田警察署員中野幸男さん(三五)の長男幸秀ちゃん(三つ)が同地内を横断しようとして進行中の常磐交通バス運転手秋元喜代見(三五)にはねられ即死

八日平商PTA湯本懇談会

平商高PTA常磐市湯本地区会の先生と父母の懇談会は八日午後二時から湯本公民館でひらく

ヤミ米十俵

機動班平分遣隊では二、三の両日常磐線上り急行の主食取締を行ない無主米七十八個十俵を押収した

平財界育ての親加藤氏をしのぶ会

いまから十七年前に逝去した平財界の大番頭故加藤丈夫氏（平市白銀町不二屋店主）に直接指導をうけた滝田豊、石山一治、大原虎雄の三氏が発起人になつてこのほどもとの従業員二十名が集つて市内古銀治町松堂院で追悼会を行つたのち二代目加藤氏の経営になる不二屋二階で当時の裏旧談にふけりこの機会に「丈夫会」を結成して加藤氏の胸像をつくつて永く記念しようと話し合いが進められている

加藤氏は生前は内郷町議、不二屋経営していたがタクシー、不二屋経営していたがむしろ福島貯蓄銀行の頭取をつとめて平政経、財界の大立物として有名だつた、またその反面には動物を愛し小鳥の飼育と犬の育成では名人芸ともいわれた、馬上姿は異彩をはなつて平名物ともいわれていた、そのほか名刀ほう剣を集め個人で展覧会を開きそのなかには名刀正宗も含まれていた、柔道二段、剣道四段の猛者でもあつたが病いには勝てず昭和十七年一月十七日に現在の内郷市小島の自宅で永眠しその逝去はいまなおおしまれている

平自労組夏期手当きまる

平市役所では今年の自由労務者の夏期手当は昨年と同額の四百円のほか貸附金四百円（十一月末日までに返還）市長のポケットマネーから地下足袋代二百円、原生資金に百円平均を支給することに決めた

内郷自労組も決る

内郷市自労組（組合長佐藤孔明氏組合員千百名）では二日午前十時から同市役所会議室で沼田市長と夏期手当四百円、組合員レクリエーション費十万円支給につき交渉談笑裡に妥結、三、四日の両日支給することになつた

七夕臨時列車

名物七夕祭りの人出を予想して国鉄水戸管理局では五日常磐線に二十一本磐越線に一本の臨時列車を繰り出す、発着時刻つぎの通り

下リ ▽平発十三時十九分—久の浜着十三時四十七分▽平発十七時四十分—久の浜着十八時七分▽平発十九時四十五分—四分倉着二十時六分▽平発三十一時三十分—久の浜着二十二時二分△平発二十三時十五分—富岡着零時四十分

上リ 久の浜発十五時十分—平着十五時四十三分▽久の浜発十九時—平着十九時二十一分▽富岡発十八時四十八分—平着二十時四分▽四倉発二十時四十五分—平着二十一時四分

上リ ▽平発十二時二十分—湯本着十二時四十四分▽平発十三時二十五分—泉着十三時四十九分▽平発十八時五十分—湯本着十九時四分▽平発十九時三十二分—植田着二十時七分▽平発二十時三十分—泉着二十時五十三分▽平発二十一時十二分—湯本着二十一時二十六分▽平発二十三時十五分—高萩着〇時廿四分

下リ▽泉発九時三十分—平着九時五十五分▽湯本発十三時—平着十三時十四分▽泉発十四時二十分—平着十四時五十四分▽湯本発十九時二十分—平着十九時三十九分▽平発二十三時十五分—小川郷着二十三時三十八分

幼児貯水池に轉落死亡

二日午後一時半ころ平市塩県立園芸原種農場耕夫作山房男さんの四男昭美ちやん(三)は農場内の防火用水池に転落水死した

お婦人はビールがお好き

失礼しちやうわ、コップちようだい

七月消えたアワ七百石

ツーとひつかけて、オツマミをつまむあたりの手際は男の不器用さでは太刀打ちできない、したがつて御婦人の酔つぱらいも戦前からみると三割増しになつており、なかにはお巡りさんを手古ずらす女サムライも少くない、女性が酒をのむようになつた原因は

①戦時中の配給酒がアルコールに親しませた
②女性の交際が多くなつた
③心理的に明朗活潑になつてきた
④アプレ的デカダンスなどが挙げられる

働く少年少女の作文募集

優秀作品には大臣賞

労働省では日本放送協会と読売新聞社の後援で働く少年少女の作文募集を行ない応募作品をまとめて製本し出版することになつた、募集作品の種類は生活記、感想、日記など（枚数は自由）詩（三篇以内）短歌（十首以内）俳句（十句以内）で応募資格は十八才未満で働いている者（会社、工場などに勤めている者ばかりでなく商工業、農業、漁業などの家業に従事している者あるいは街頭で働いている者などを含む）締切は八月三十一日までで発表は十月、入選者百名に記念品を贈るほか特にすぐれた作品四十点には労働大臣賞、読売賞、日本放送協会賞などが贈られる、応募の方法は作品の終りに勤務先の所住地、名称、産業の種類本人の現住所、氏名（ふりがな）生年月日、仕事の種類、匿名の希望の有無を書いて東京都中央局区内労働省婦人少年局年少労働課または福島市北五老内町五六福島婦人少年室宛へ申し込めばよい

飾りは秘中の秘

平七夕賣出し大童

平名物七夕まつりもいよいよ明四日からフタあけされる、今三日夜は市内商店は竹かざり、造形装飾などの飾りつけを行うわけだ、飾りは秘中の秘と口をかんして語らないが商店の客よせ戦術で昨年よりも珍妙、奇ばつを飾りつけも出現するものと見られ市民の話題は七夕に一辺倒といつたところ、また二日から行われている平市商店会の連合大売り出しは二日から行なわれているが一そう客の買気をあおろうと十一商店各個に横断まくをはつて宣伝に大童である

中島健蔵氏來平

今晩公会堂の夏期大學へ

尼子会主催夏季大学は第四日目を迎え、今晩は文芸評論家中島健蔵氏の「文北のゆくえ」である、連日盛況の夏季大学は中島氏を迎えて高潮に達している

カバンのデパート 平駅前 ヨシダ

8月 6 7 8 13 14 15 先頭責任レース

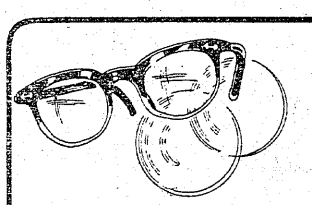
平けいりん 午前11時発走 場外賣場 大町・郡山 若松・福島

田中には

驚く程沢山の
カメラが
揃つています
田中の現像　焼付けは良心的だと定評です
本店・平三丁目 576
サービス部・平三〇米通り 1860
支店・湯本店 308
カメラのデパート 田中

酒落れた柄 センスある柄
平 銀座 マルエ
TEL 865

整形外科
内科 外科
レントゲン科 科
理学診療科 科
入院随時
福島県平市三十米道路
医療法人 竹林病院
院長 竹林貞吉
電話 六〇八番 八一一番


科學的檢眼
レフラクトメーター設備
眼鏡専門 松本
平市一・電一八五一

お盆に関する五章

草野正辰

第一章　ほおずき

トクサが生えている庭の片隅にホオズキが色づいてくるとお盆はもうすぐ近い、精霊だなのマコモでつくつたむしろのニオイ、ナスビでつくつたムラサキの馬、天津桃の丸み、線香のけむり、ゆらぐお燈明、そしてホオズキが沢山つりさげられて―幼い日の思い出はホオズキ提燈のようにポツカリとトモる

第二章　おどり

人が生れ人が死ぬ、その間の泣き笑いは盆おどりと同じようなものひと所に次第に集まつて来ては手をふり、足をふり、やがて暗やみの彼方へ消えてゆく、むさくるしい仮装をしたり、スガスガしいゆかた姿で見物したり、力強くタイコをたゝいたり、軽妙に笛を吹いたり、そしてさまざまな歌がうたわれては夜空に飛去る、ぼんのおどりのありようは華やさのうちにキビしい冷たさをあのドヨメキのうちにかくしている

第三章　迎え

「街は火の海」といわれるほどに平の迎火は名物だつた、子供らがゆかたのスソをもち上げて飛越すなど思いもよらないくらいに高く つみあげられたタイ松の姿はもう見られない、「死んだ三ちやんのあちやん、ないならボク出すよ」これが小学三年生

第五章　ちょうちん

ひやそうめんのドンブリがあつてちょうちんがすずしくならんで、風鈴とつりしのぶの対照が青だゝみの向うに明るい、夜ともなれば来客の足がしげく酒が出てしめやかにお経の声がしたものだつた、ゆかたに島田のおねえちやんが紅いたすきをはずして台所から出てくる頃は夜も大分ふけちょうちんの火はチラチラとまゝたきはじめていた、今は昔、床の中で眠つつている以外は麻雀、パチンコ、映画館、ダンスホールでお酒飲み出て拒絶されるやすきを見て逃亡した、くるはずのスミスは殺されインディアンは攻撃を開始した、この状勢にバーストウはジョアナを逃がすために誘導作戦に出てインディアンの注意を自分にひきつける、果して敵は喚声をあげてかかつてきた、衆寡敵せず、北軍の救援隊とジョアナがかけつけたときには全員最期をとげていたという壮烈極まりない血斗篇でエロール・フリンとパトリス・ワイモアはこの映画が縁で結婚した、アラン・ルメイの原作をウインストン・ミラーが脚色しウイリアム・キイリーが監督、同時上映はスペイン映画「愛と王冠の壁の中に」四日から十日まで　民劇

浅草の夜

（大映）浅草××座の踊り子高島節子（京マチ子）とその作者山浦進（鶴田浩二）は三年ごしの恋人である、節子の妹波江はおでん屋の女中で有名な都築画伯（滝沢修）の養子紫水（根上淳）と恋仲だが節子は頑として認めない、波江の頼みで紫水に会つた山浦は純粋で真剣な二人の恋の成就に協力を誓つたとき劇場の先生格の秋山の喊首問題が引き起る、その原因が浅草のボス福島屋創造（志村喬）の金もうけのためとわかつた節子は単身福島屋に出かけて波江に惚れている仲駒吉（高松英郎）の斡旋ですぐ解決してしまう、だが波江はしつこい駒吉の求婚を拒み続けた、さてかたくなゝ節子の口から山浦は意外な告白を聞いて驚いた、それは都築画伯は実は実父で母が死んでからの貧困のために他家に養女にやられてどん底の生活を経て成長した姉妹であつた、恨み抜いた父柿江の養子紫水だからこそ波江を結婚させられぬという述懐だつたすべてを知つた山浦は親娘の対面を計るがその折波江の色よい返事を聞けない駒吉はすつかり憤つて紫水に喧嘩を売つてきた、それを買つて出た山浦は本願寺の境内で駒吉と相対するのだつた、ネオンまたたく浅草の繁華街にさざ波ゆれる隅田川岸に物語はなおもはらんをこめて展開されてゆく…人気絶頂の四大スタアが火花を散らして競演、適度の甘さと哀愁が織りまざつて大いに楽しめる作品である、川口松太郎の原作を島耕二が脚色監督、同時上映は大映「こんなアベック見たことない」四日から十日まで（世界館）

新映画

日曜の休日

（パラマウント）某国の王女アン姫（オードリー・ヘプバーン）はヨーロッパ親善旅行の途中ローマに立ち寄るが、あんまりきゅうくつな日程に我慢できなくなり或る夜ひそかに宿舎の大使館を抜け出してアメリカの新聞記者ジョオ（グレゴリー・ペック）の世話になり彼のアパートへ泊つてしまう、翌日ジョオは彼女がお姫様であることを知りあちこち連れ廻り特種にしようとして写真部員アーヴィング（エディ・アルバート）に連絡してローマ市内を見物しながら彼女のあらゆるポーズを盗み撮りさせる、こゝにいろいろな微苦笑をまきおこさせる事件が展開しやがて二人は愛し合うようになる、しかし王女はやがては大使館へ帰らねばならない、その翌日、記者会見の席上アン姫はジョオと会つた、だが二人はもう口を聞くことはできない、アン姫はジョオとそれとなく別れをおしみジョオと過ごした一日の美しい思い出を胸に抱きしめて帰国の途につく、今や映画ファン注目の的であるオードリー・ヘプバーンのアカデミー主演女優賞を得た作品で理窟抜きで絶体楽しめ深く印象づけられる、四日から十日まで（聚楽館）

黒いけし

（松竹）黒いけしのように美しい柿田奈保子（角梨枝子）の夫良平（須賀不二夫）が急死してその葬式の最中に生前良平に世話になつたという西沢圭一郎（三橋達也）から乱暴を求婚をうけついに唇をうばわれてしまつた奈保子を訪ねてきた昔の家庭教師で今はラジオ日本のドラマ作家香推三平（川喜多雄二）は奈保子の尽力で北村理恵という女性と結ばれる、良平が生前囲つていた印南フジ（水原真知子）との遺産争いの渦中から逃がれ出た奈保子はラジオ日本のプロデユサー桜井京子（小林トシ子）の紹介で声優になると同時に良平の母鶴代とホテル住いを始めた、そのころ大阪にいる父の定彦（北龍二）から妹伴子（野添ひとみ）の失踪を知らされる、一方西沢は密輸を働いているがふだんから自分でいつているようにほんの少しん士であつたそれだけに仲間からけむたがられて警察へ密告された、そして刑事達に追われて逃げこんだ処が奈保子の住んでいるアパートだつたがそこで西沢は追つて来た刑事を友人といつわつて奈保子に紹介して捕われるとともに伴子の捜査を依頼する、間もなく見つかつた伴子を抱いた奈保子の眼には一人で生き抜いて行く女の強い光が輝いていた、毎日新聞に連載された菊田一夫の小説を映画化したもので原研吉が監督、同時上映は新東宝「母の秘密」四日から十日まで（平館）

勇魂よ永遠に

（ワーナー・ブラザーズ）南北戦末期、敗色濃き南軍のバーストウ大尉（エロール・フリン）は加州に潜入し合州に勢力をもつならず者の首領スミス（ハワード・ペトリイ）と連絡をつける密命をロバート・リー将軍から受けた、スミスとともにゲリラ隊を組織するためである、その途中インディアンに襲われた駅馬車を助け男女二人を救う、ジョアナ（パトリス・ワイモア）は北軍将校リツキー中尉（スコツト・フオーブス）の許婚者、翌日スミスと会つたバーストウの一隊はリツキーとインディアンの偵察隊を捕えたがスミスは部下を集め二日後にやつてくるといつて立ち去つた、その夜捕えてあつたインディアンが逃亡し間もなく狼火が見えた、危険をさとつたリツキーはバーストウの近くにいる味方に援軍を求めに行くことを申出て拒絶されるやすきを見て逃亡した、くるはずのスミスは殺されインディアンは攻撃を開始した、この状勢にバーストウはジョアナを逃がすために誘導作戦に出てインディアンの注意を自分にひきつける、果して敵は喚声をあげてかかつてきた、衆寡敵せず、北軍の救援隊とジョアナがかけつけたときには全員最期をとげていたという壮烈極まりない血斗篇でエロール・フリンとパトリス・ワイモアはこの映画が縁で結婚した、アラン・ルメイの原作をウインストン・ミラーが脚色しウイリアム・キイリーが監督、同時上映はスペイン映画「愛と王冠の壁の中に」四日から十日まで　民劇

香掛時次郎

（日活）やくざ渡世の義理から恨みもない六ツ田の三蔵（辰巳柳太郎）を切つた香掛時次郎（島田正吾）がいまわの際の三蔵にたのまれてその女房お絹（水戸光子）と子供の太郎吉（香川良久）の世話をみてゆくうちに時次郎もお絹も愛情を感じ惹かれ合つていくがそのくらしは貧乏に痛めつけられていくのが精一ぱいだつた、その時次郎に或る日、旦当二両の喧嘩の助つ人の話が舞いこんでくる一度は断つたものゝお絹のお産の費用を作るためお絹に内緒で引受けた、無事に喧嘩場から帰つて来た時次郎の前にお絹は難産のために冷たくなつていた、今日もまた浅間の煙が三すじ流れて―太郎吉を背負つた時次郎の姿が果しない街道の彼方へ消えて行く、長谷川伸の原作を佐伯清が監督、同時上映はアメリカ映画「死の砂塵」四日から十日まで（ひかり座）

手頃なお中元調べ ⑩

山吉呉服店

（百円前後）
男大人用靴下二足
〃　兵児帯
レース袖口

（二百円台）
桐生単帯（四寸巾）
米沢〃（五寸巾）
綿正花裏地
綿裏地
綿花裏地
ハイバー着尺
男物綿中形

綿絽綿帯巾
地染手拭
割烹着
雪花絞り
ベビーゆかた一ツ身

（三百円台）
男物綿中形
紺かすり

（四百円台）
半巾袋帯
上等白格子

（五百円台）
ベビー服
タオルネマキ（オクミ附）

（六百円台）
桐生単帯（八寸ハバ）
仕立名古屋帯

（九百円台）
ポーラー（上等）

綿白格子
純綿単襦地
ブロード婦人用スリツプ

今晩の映画（元―四）

◎聚楽館　改装のため休館
◎世界館　母時鳥　一本刀土俵入　里見八犬伝（完結篇）
◎平　館　美男天狗党　重盛君上京す
◎民劇　甘日風と人間　アラゴンの城塞
◎ひかり座　水着の花嫁　荒神山
第二いわき（至十一）　黄金街の覇者　酔いどれ二刀流　少年婆三四郎
◎綴映劇（一―三）　キスメット　母の秘密

ミシンは八ツビイ 機の小山で

投稿を歓迎しますハガキ一枚に一つ書くこと、採用の分に薄謝呈

寿入り米強制配給
この次はおれだぞオ
―スイバク
（三図、後藤）

造船疑獄の火消ゆ
消火表彰式はいつです
―国民
（城山、五右門）

商店界

吉田カバン新入荷

平市銀座通りヨシダカバン店には夏の流行もの白色ハンドバツグ各種取揃えてあるが更に最近東京で流行している白、黒の縞模様カバンが入荷しオシヤレ娘さん方の気を呼んでいる

寿で七夕飾る

平駅前の寿百貨店では平市のトツプを切つて七ばたを飾りつけた、ビニール製なので雨が降つても大丈夫と店員たちは自慢している

銀巴里開店

平市六丁目のさかいや百貨店隣りにシヤレタ店がまえの理髪店が近日開店する、店の名は銀巴里

盛高屋の特売品

平市三丁目盛高屋では中元向き贈答用品を豊富に取揃えて発売中だが特価品の開襟シヤツは良品もの多く好評

カメラと富士DPは
旅館　鈴三屋　平市四丁目　電一四四
小野屋薬局裏　佛具　橋本屋　平市新川町　電一九四八
美味の名物　流れ寿司　TEL 七
ざるそば　もりそば
ラジオと電機器具　ユタカ　湯本横町
音楽の店　富貴文化堂　平駅前
巴里　社交ダンス　平6
パンは　開花亭　平市五丁目　電三四二
銘菓　八雲の雫　桃の井　平市一丁目　金沢屋　電327
断然群を抜く　スポーツ用品！　大塚　平駅前　電七十七番　野球 競技 ラクビー 靴　服 星運動 靴 装
美容とパーマ　今般皆様の御希望に添う為平信販に加盟致しましたチケットの御利用を喜んでお迎え致します　大庭美容院　平南町（大黒屋本店隣）　TEL 1285
財団法人　松村病院　平市南町一三（駅より真直大通り三丁）　電一〇七、一八九二（受付、事務）　電一六九六（第二病棟）
外科　院長　松田辺村勇亨成
内科　主任　岡崎英彦
婦人科　主任　鈴木天生仁
歯科　主任　岸村政之助
放射線科　主任　松田吉次
レントゲン科　主任　新山ナヨ治
薬局　主任　香妻春

マルサ　独創の　ソフトアイスクリーム　平市平和通り　電1221　マルサ